

# 今、あらためて「不登校」を考える

京都府総合教育センターでは、令和4年度から「今、あらためて『不登校』を考える」というテーマで研究を進めてきました。令和6・7年度は当事者から経験を語っていただき、「不登校」について再考することを試みました。その研究内容を総合教育センター研究紀要に掲載しています。紀要には、研究協力者7名の語りも掲載しています。京都府総合教育センターホームページ(ITEC)から御覧ください。



教育相談部研究HP

## リサーチ クエスチョン

不登校の経験はどのような体験であったか？ よりよい支援とは？

- ・ どのような出来事を経験したか
- ・ 支えとなった人との関わりはどのようなものであったか
- ・ どのような心の状態や変化を経験したか

## 不登校当事者7名の語りから

高校生 Aさん

不登校期間：小～中学校

単に待っているとは違い、何にもされないとは違い、放置とは違い、週1で会いに来て、しゃべったりとかするのは自分に向いていた。

高校生 Bさん

不登校期間：小～中学校

学校っていうコミュニティから外れることで、ちょっとほっとしている。つながらない権利。

高校生 Cさん

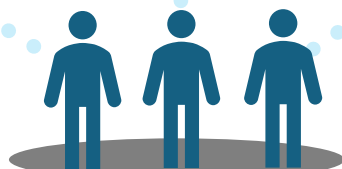
不登校期間：小～中学校

不登校になると学校に行って、友達と遊んでという楽しい夢をみるのがすごく多かった。楽しい夢が多くて、起きるとなんか悲しくなる。

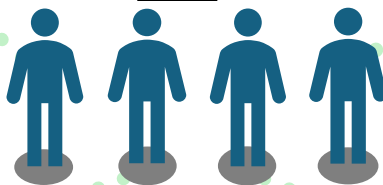
高校生 Dさん

不登校期間：中学校

今、学校は楽しい。不登校を乗り越えたっていうか、不登校をぶっ壊して新しく作りだしたみたいな。



R 6 共通性に注目



R 7 個別性に注目

高校生 Eさん

不登校期間：小～中学校

尊敬できる人と沢山出会えて良かったとは思っている。大学で心理学勉強しようってなったのもまたこの経験があったからだと思う。

大学生 Fさん

不登校期間：中学校

行きたくないのに、学校に行ってるっていうことにすごくストレスを感じた。高校はカーストとか、こういう感じの子がイケてるとかそういうのが全部なかった。

「語り合いができる伴走者」  
 「勇気が持てる・成長を支える」  
 「安心を感じる場」「家族支援」  
 「かわり続ける」「連携」  
 「多様な学び方」「見立て」  
 「情緒面での寄り添い」  
 「担任を支える学校体制」

社会人 Gさん

不登校期間：小～中学校

その過去っていうのは変えられないけど、過去の価値っていうのはまだ今も変えられるって考えをもって。

7名の語りから、今、学校に求められるものとは？

本当は行けるものだったら行きたかった時間でもある。今は取り戻す時間、新しく取り戻す。気まづさが乗り越えられたみたい。消えた青春、無の青春を今取りに行く。今学校は楽しい。不登校を乗り越えたっていうか、不登校をぶっ壊して新しく作りだしたみたい、一回今までのをぶっ壊して新しく作り始めた。別の人間ではないけれど、別物って感じ。第二の人生。

しんどい学校に行かず家にいるということだから



もうしんどくないなんてことは **ありません。**

家では全然そんなことなかったけれど、外で楽しそうにするとか自分の中でダメなことだと思っていて、面白い会話とかあっても、笑わないようにしていた。誰か一人の先生のおかげでこう素が出せたみたいよりかは、何人かの先生がいろいろな役割をしてくれていたと思う。なんか認められているというか。自分にもこのできることがあるっていうのとか、先生もちゃんと見てくれているんだみたいな感じはした。

担任の先生はいい先生で、休んですぐくらいから週1くらいで家に来てくれた。最初は遊んで、しばらくしてから数学を教えてもらった。担任の先生は、学校であったことは話したけど、学校に誘うことはなかった。親は、高校のことを考えると学校に行った方がいいという感じのことは言ったけど、学校に行かなくても勉強だけはしといた方がいいという感じだった。

家に卒業証書を持ってきてくれて、お母さんも最後やから挨拶した方がいいんじゃないかみたいな感じだったので玄関先で会った。久しぶりに顔を合わせた先生がコサージュをせっかくやからつけて欲しいみたいなことを向こうから言ってきて、つけさせられて。証書もなんとなくという感じで渡されて、元気ですか？みたいな、あっはい、みたいな会話をして帰っていったけど、それが嫌すぎて、帰った瞬間泣いて本当に嫌だった。

あのとき、「いやだ」の三文字があれば、どれだけ気持ちを伝えられたらとうとは多少思う。暴れる以上に、自分の詳細な感情を、強い感情を伝える手段がなかった。別の形で出さざるを得なかった。自分は周囲から見ればただ暴れる人。でも自分からしたら、言葉にできてないだけでそこには明確な嫌がある。不登校を経験して、一番得たものは、人格とか、優しさとか、人間的な自分を認識する力とか、周囲を認識する力がついた。

ずっと同じことやって、全然学習が前に進まなかった。よくしてくれようとしているのはわかるけど。自分のしんどくないの解決にはなっているけど、ためにはなってない。両立できるところを探すのが先生の役目じゃないかと思った。

他の同級生が怒られているのを見ると、すごい怖く、しんどくなる、そして泣くこともあった。毎日怒鳴る感じの先生であったため、すごいしんどくなり、嫌だなというのを感じ始めた。

